

【医薬系研究交流サロン】サテライトイベント『若手研究者のキャリアを考えるためのフォーラム #2』開催報告

MIP 及び KUMBL では、学生・若手研究者が、研究者としての雇用の安定性やキャリアパス、ワークライフバランス、ラボ運営を含めた研究活動の継続、研究の将来性などについての課題を共有し、議論する場の形成を目的として、本フォーラムを定期開催しています。第2回目となる今回は、“「留学」「海外でのキャリアパスを探る旅」”をテーマとし、議論しました。

【開催日】 2023年8月4日（金）10:00～12:30

第1部（10:00～11:30）：講演会

第2部（11:30～12:30）：海外派遣企画立案会（ランチオン）

【開催場所】 医薬系総合研究棟3F（イノベーションハブ京都）（ハイブリッド）

【参加者（登録者）】 11名（大学院生11名）

【ご講演者】

芦野滋先生（京都大学オープンイノベーション機構、医学研究科呼吸器内科）

臨床現場でのご経験ののち、2度留学をされた経験について、留学のきっかけ、不安や期待、留学から何を得たのか、を学生さんへの強い応援メッセージを含めてご講演いただきました。

佐竹晋先生（日本貿易振興機構）

JETROの支援メニューを含め、留学だけではなく、グローバルではどのようなスピード、大ききで物事が進んでいるのか、またその中で活躍するためにはどうすればよいのか、さらに、グローバルで自分をアピールする重要性について、ご講演いただきました。

第1部のご講演後は「『留学』についてどのような期待がありますか？」「どのような理由で留学をしたいと考えていますか」「ご自身が『留学』を考えるうえで一番のハードルは何ですか？」といった議題に対して、各自意見を出しあい、ご講演者の先生方からコメント・ご助言がありました。

第2部の海外派遣企画立案会では、MIPが履修生のキャリア選択の幅を広げることを目的に実施している海外派遣プログラムを参考に、MIP履修生が海外派遣プログラム企画を持ち寄り、学生が求める、そしてグローバルキャリアを拓くために本当に役に立つ海外派遣プログラムとは何か、を考えました。

会場からは、MIP履修生が提案した米国（ボストン）派遣案のほか、アジア・欧州への期待

感について意見があり、フォーラム終了後、有志の学生6名が Slack で意見を出し合い、ボ
ストン派遣案、台湾派遣案、欧州（イタリア・スイス・ドイツ）派遣案を立案しました。
3案は、MIP の外部評価委員会にてポスター形式で発表され、評価委員からは、学生が主体
となり立案する本企画は非常に価値があり、是非様々なことを吸収して大学に持ち帰って
ほしい、と好評いただきました。
今後は、委員からの指摘も踏まえ、行政・地域政策についても着眼し、企画案の実施に向け
て進めていく予定です。